



島津斉彬関連年表



島津斉彬に関する主な出来事

主な出来事

和暦	西暦	年齢	主な出来事
文化 六	一八〇九	一	九月二十八日、誕生。幼名邦丸。
文化 九	一八一二	四	八月、幕府に世子の届。一橋斉敦の娘英姫と婚約。
文政 四	一八一二	一三	三月、元服し又三郎忠方と改名。
文政 七	一八一二	一六	七月、宝島でイギリス人が牛を強奪、イギリス人一人射殺。 八月、母周子死亡。二月、将軍家家斉から加冠を受け斉彬と改名。
天保 二	一八二九	二一	三月、重豪・奥平昌高らとともに大森でシーボルトらと出会う。 二月、英姫と結婚
天保 四	一八三三	二五	八月、長男菊三郎誕生（同年早世） 一月、曾祖父重豪死去。
天保 六	一八三五	二七	四月二十七日江戸発、六月二三日鹿児島着。初めての帰国。
天保 七	一八三六	二八	二月一九日鹿児島発、四月十〇日江戸着。
天保 八	一八三七	二九	モリソン号、浦賀・鹿児島湾に姿現す。八月、長女澄姫誕生
天保 九	一八三七	三〇	十月、次女邦姫誕生。
弘化 一	一八四〇	三二	五月、次女邦姫死去。六月長女澄姫死去。
弘化 二	一八四一	三三	齊興、「御流儀砲術」として洋式砲術を採用。
弘化 三	一八四二	三四	一月、イギリス琉球八重山で測量強行。
弘化 四	一八四三	三五	五月、フランス軍艦那覇に来航、通商要求
弘化 元	一八四四	三六	五月、フランス軍艦那覇に来航、通商要求
弘化 二	一八四五	三七	五月、イギリス艦那覇に来航。七月、次男寛之助誕生。『四書』『五経』出版。
弘化 三	一八四六	三八	四月、イギリス艦那覇に来航、通商要求。五月フランス艦那覇に来航、通商要求。齊興、 鑄製方・中村製薬館創設。斉彬、琉球外交問題処理のため帰国を命じられ、六月八日江戸発、七月二十五日鹿児島着。
嘉化 四	一八四七	三九	三月一日鹿児島発、五月一〇日江戸着。二月、三男盛之進誕生。
嘉化 元	一八四八	四〇	箕作阮甫に蒸気機関の書籍翻訳依頼。五月、次男寛之助死去。一月、四男篤之助誕生。 三月、薩摩藩家老調所広郷自殺。
嘉化 四	一八四九	四一	この頃、写真研究に着手。閏四月、五男虎寿丸誕生。六月四男篤之助死去。九月、箕作阮甫 訳『水蒸気船説略』完成。一二月お遊羅騒動勃発。
嘉化 三	一八五〇	四二	一〇月、三男盛之進死去。この頃徳川家から家定との縁談申し込まれる。『孝経』出版。
嘉化 二	一八五一	四三	一月、三女暉姫誕生。二月二日、薩摩藩就任。三月九日江戸発、五月八日鹿児島着。 鶴丸城内で反射炉の実験に着手。三本マスト船「いろは丸」建造に着手。琉球から護送されてきたシヨソ万次郎から洋式船の構造を聞き取らせ、「越通船」の建造に着手。今和泉 家島津忠剛の娘於一（篤姫）を家定夫人候補とする。
安政 五	一八五二	四四	五月、四女典姫誕生。磯で反射炉（一号炉）の建設に着手。熔鉱炉建設に着手。鶴丸城 内に製煉所創設。八月二三日鹿児島発、一〇月九日江戸着。騎兵隊創設。
安政 六	一八五三	四五	三月、於一（篤姫）を養女に迎える。四月、ペリー艦隊那覇来航。五月二日江戸発、六 月二日鹿児島着。五月、琉球大砲船（昇平丸）の建造に着手。八月、幕府に大船建 造解禁を願い出る。反射炉（一号炉）完成。一〇月、五女寧姫誕生。二月大船等一五 艘建造出願、日の丸を日本の総船印にするように提案。
安政 元	一八五四	四六	正月二日鹿児島発、三月六日江戸着。七月、熔鉱炉完成、製鉄に成功。閏七月、五 男虎寿丸死去。閏七月から病臥。反射炉（一号炉）不調、二号炉建設命じる。鳳端丸・ 万年丸・大元丸・承天丸建造に着手。この頃、「いろは丸」完成。一二月、昇平丸竣工。『四 書』『五経』『遠西奇器証』出版。木村嘉平、鉛活字製造着手。
安政 二	一八五五	四七	二月、病氣全快。八月、蒸気船雲行丸竣工。昇平丸を幕府献上。鳳丸・万年丸・大元丸・ 承天丸竣工。一〇月、江戸大地震、芝罘罹災、渋谷邸に移る。緒方庵・川本幸民らに 電信の実験を命じる。磯にガラス工場創設。郡元水車館創設（搾油）。
安政 三	一八五六	四八	渋谷藩邸で電信実験に成功。長崎海軍伝習所に藩士派遣。水軍隊創設。郡元水車館に機 織所増設。一二月、篤姫、家定の元へ嫁ぐ。
安政 四	一八五七	四九	鶴丸城内で電信実験に成功。四月三日江戸発、五月二四日鹿児島着。五月、反射炉（二 号炉）完成。七月、鑽開台でガス灯を試み、のち仙巖園に点す。八月、磯の工場群を「 集成館」と、城内の製煉所を「開物館」と命名。九月、六男哲丸誕生。九月、銀板写真撮 影に成功。
安政 五	一八五八	五〇	田上水車館創設。永吉水車館創設。三月、咸臨丸入港、カツティンテীগらに集成館な どを見せる。五月、咸臨丸入港。五月、「富国強兵」を勧める建白書を幕府に提出。七月 八日、調練場で調練指揮。七月九日、体調不良。七月一六日死去。九月一〇日夫人英 姫死去。一二月、島津忠義（茂久）薩摩藩主となる。
文久 六	一八五九		田上水車館創設。永吉水車館創設。三月、「富国強兵」を勧める建白 書を幕府に提出。七月八日、調練場で調練指揮。七月九日、体調不良。七月一六日死去。 九月一〇日夫人英姫死去。一二月、島津忠義（茂久）薩摩藩主となる。
文久 三	一八六三		一月、六男哲丸死去。九月、斉興死去。
明治 元	一八六七		五月、照國大明神の神号下付。
明治 一	一八六八		五月、イギリス人水戸藩領に上陸 （大津浜事件）。 二月、幕府異国船打ち払い令を出 す。
			二月 大塩平八郎の乱。 アヘン戦争勃発（一四二）。 五月、幕府天保の改革に着手。 九月、老中水野忠邦失脚。阿部正 弘老中になる 閏五月、アメリカ使節ピットル、 浦賀に来航、通商要求
			中国で太平天国の乱起こる 六月三日ペリー艦隊浦賀来航。将 軍家慶死去、一〇月、家定将軍就 任
			三月、日米和親条約締結。 十月幕府、長崎海軍伝習所設立 アメリカ総領事ハリス着任。 五月、下田条約調印 六月、阿部正弘死去。
			四月、井伊直弼老に就任。六月、 日米修好通商条約締結。紀州家徳 川慶福（家茂）将軍継嗣となる。 七月、家定没。九月、安政の大獄 始まる。一〇月、家茂将軍就任。
			一二月、王制復古の号令 一月、鳥羽伏見の戦い